

ひとりから

子ども会情報紙『ひとりから』

発行日/2016年12月1日

発行/真宗大谷派(東本願寺) 青少幼年センター
〒600-8164 京都市下京区藤訪町通六条下る上柳町199
TEL: 075-354-3440 FAX: 075-351-9599
E-mail: oyc@higashihonganji.or.jp



正西寺 子ども会 勤行本づくり

蓮ちゃん通信 その①

絵本100冊プレゼント 募集中!!



お寺の子ども会や幼児
広場などで絵本を活用
してみませんか?
詳しくは、10月末の寺
院・教会定期直送便同
封の募集要項、もしく
は青少幼年センター
ホームページをご覧
ください。



〔2016年12月20日(火) 応募締切〕

東本願寺 青少幼年センター

検索

懐かしい人になる

青少幼年スタッフ 八幡朋行
やはたともゆき

小学校に通う頃になると周囲の友だちと仲良くし、同じように行動することが求められる、日々成長しなければならぬといった情操教育の中に身を置きます。

このような社会の仲間入りとして道徳心を養い、向学心をもって知識を蓄える学力主義の日常に、いつしか私は居心地の悪さを感じ始め、ついに集団生活に溶け込むことができません、競争社会における学校で「落ちこぼれ」という評価を受けました。

その時期にあるご任職が語られた「偉い人になるのではなく、懐かしい人になるのですよ」との言葉に出会いました。人は順風満帆にのぼりつめるばかりでなく、苦しみ悲しみ悩み悶えながら温か度懐かしい人となる道もあるのだと気づきました。

ふとした時に会いたくなる懐かしさ…そつ一人ひとりが懐かしい人となってゆけるのが親鸞さまの教えであり、それを何より大事にする場がお寺の子ども会だと思えます。

ほとけの子

山陽教区 栗栖寂人



僕は、そのままをそのままに、あるがままをあるがままに真つすべに見るということがとても難しいよね。何かと比べないと分らないから、難しいというよりできないのかもしれないね。

例えば、自分と人とを比べてあの子より「大きな」とか、反対に「あの子より小さい」とか、思ってしまうことにならぬ。

僕は小学四年生の時に転校して、今のお寺に入ったんだけど、すぐに一番仲よくなった友だちにいつも引つ付いて一緒に遊んで、そのうちこの友だちが自分から離れていったらどうしようと思うくらい大好きになったの。離れていくのが怖かったから、自分自身少し無理してたような気がするなあ。その友だちは、自分よりずっとしっかりしてて、大人でリーダーシップもあって、カッコいいなあって思ってた。それに比べて自分は恥ず

かしがりやで全然しっかりしてなくて、ずっとその友だちみたいになりたいなあって憧れてたけど全然なれないし、そんな自分であることに嫌な思いをすることもあって、なりたくない自分になれない自分はダメだなあってよく思って小さくなってた。でも、ダメだなあと思ってただけじゃなくて、運動はできる方やったから、自分よりできない子と比べてその子を小さくして、自分は大きくなった。本当は大きくも小さくもない、この自分があるだけなのに、人と比べて小さくなってダメだなあと思ったり、大きくなってどうだ！って思ったりしてたんやね。

仏教をひらかれたお釈迦さまは、今から二五〇〇年ほど前にお生まれになって、生まれてすぐに「天上天下唯我独尊」と言われたと伝えられているんやね。

それは、「ただ我一人にして尊し」ということ。

勉強や運動ができたり、なりたくない自分になれるようにとか、そういう何かできるよになることじゃなくて、誰とも代われない、いや、誰とも代わる必要がない、かけがえのない一人として生まれて、そして今ここに存在していることが尊いんだよって。お釈迦さ

子どもたちと聞く法話

まだけじゃなくて、人は誰もが生まれながらにして、かけがえのない存在なんだよ。そのことを呼びかけておられるのが阿弥陀仏という仏さまなんだと教えられているんやね。

僕らはできなくてもできなくても、本当は価値が変わることはないのに、「できる」ことは良くて、「できない」ことはダメだっていう世の中になっっているから、威張ったり、落ち込んだりしてしまふんやね。でも、あなたはあなたのまま、誰にも代わる必要がないって願われて、そして、あなただけじゃなく誰かが同じように願われているの。南無阿弥陀仏って…。

僕たちが仏さまに手を合わせて南無阿弥陀仏と称えることが、そのまま仏さまの呼びかけを聞くということ。だから南無阿弥陀仏を称えることを一番大事に思っ、何代も何代も僕たちのところまで伝わってきたんや。僕は今でも似たような状況の時、自分で嫌な思いをすることがあるんやけど、それは、子どもの時に感じてたものが覆いかぶさって出てくるような気がしてしょうがないんや。でも、ここに伝わってきた南無阿弥陀仏を称えることが、お釈迦さまが言ったとされる「天上天下唯我独尊」、人は誰もが生まれながらにして尊いんだというところにみんなが帰れるということなんや。だから失敗しても、間違えても、できなく

ても自分はダメだと思わなくていいんや。「ただ我一人にして尊し」ということが南無阿弥陀仏から教えられてくる事実やから…。

自分のこと大事に思えたら、人のことも大事に思えるんじゃないかな。

別々でも一緒の時でも南無阿弥陀仏称えよな。僕もあなたも「ほとけの子」やから。

蓮ちゃん通信 その②

2017年3月4日(土)～5日(日)

雪に愉しむ池の平 with 子ども報恩講!

子ども報恩講をお勤めすると共に、手づくりのグレンデを滑る“すのこぞり”や、アルペンスキーも楽しめます。ぜひお誘いあわせご参加ください。

詳しくは、高田教務所内「池の平青少幼年センター係」☎025-524-3913 までお問合せください。

池の平青少幼年センター

検索



乳幼児親子で
たのしめる

ひとりからはじめる
イベントレシピ



絵本と工作を組み合わせた プログラムづくり

～「かえる」をモチーフに、親子で遊ぼう～

①絵本のおよみかせ



『ぴよーん』

作・絵 まつおかたつひで / ポプラ社

子どもたちも
どうぶつになりきって
「ぴよーん」と
ジャンプ!!

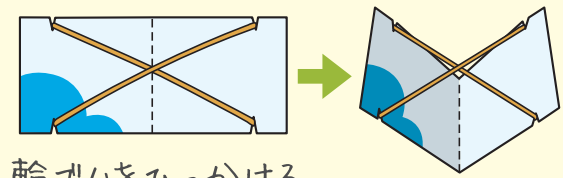
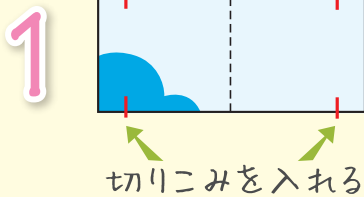
赤ちゃんは高い高いを
してあげましょう



②牛乳パックで作るカンタン工作



正方形2面分の
牛乳パックを用意

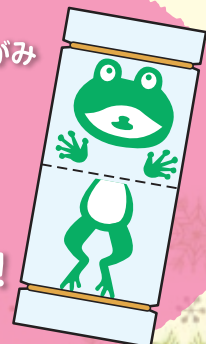


- 材料
- 牛乳パック
 - 輪ゴム
 - はさみ
 - 色ペン・おりがみなど

3 反対におりまげて
このように手で押さえて
手を離すと、



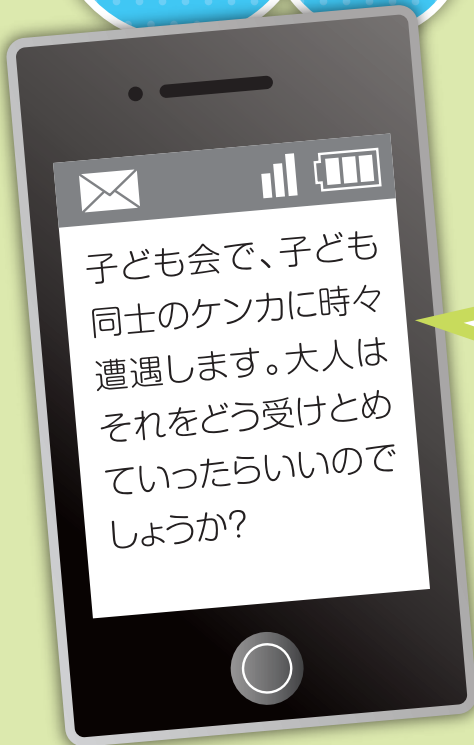
色ペンやおりがみ
などを使って
かえるの絵を
かいたり、
切り絵を
はったりして
楽しもう!!



Re:

サガエさんおしえて

子ども会での悩みや困りごとをサガエさんにお尋ねするコーナーです。



子ども会で、子ども同士のケンカに時々遭遇します。大人はそれをどう受けとめていったらいいのでしょうか？

さがえ なつみ
佐賀枝 夏文

1948年生まれ。大谷大学名誉教授。児童福祉施設等での児童指導員、心理判定員を経て、現在は高倉幼稚園長で青少幼年センター研究員。カウンセラーネーム「サガエさん」です。東本願寺出版より最新刊『すべてが君の足あとだから—人生の道案内—』発売中。



あなたの
お寺の子ども会の写真で
巻頭を飾りませんか？

蓮ちゃん通信 その③

子ども会情報募集中!

「お寺にどう子どもたち」の写真や動画など子ども会の内容をお寄せください。巻頭写真に採用された方には、東本願寺キャラクターグッズをプレゼントします!

宛先は、「郵送」または「E-mail」
oyc@higashihonganji.or.jp
『ひとりから』子ども会情報係 まで



「ひとり」を確かめる。そこに仏法の確かさがあり、本紙の表題『ひとりから』に込められた一つの意味も深くあるのだとあらためて感じます。―御正忌や満堂の朝我座―
(青七主幹)

◎子どもも大人も、自分と他者を比較し、その結果に一喜一憂する毎日を過ごしています。しかし、心の底では、今、この瞬間、このまを認めてほしい、抱きとめてほしいと欲しています。そんな私に静かに寄り添ってくれるのが阿弥陀さんなのだ、改めて子ども会で確かめていきたいと思いましたが、
(編集長)

編集後記



いっしょに悩む

ケンカに遭遇したとき、われわれはどのように受けとめたいのでしょうか、という質問をいただきました。子ども同士の「ちょっとしたズレから起きる行き違い」「じゃれあいから発展したケンカ」には、お互いの「言い分」があります。そして、爆発した行動のスイッチが入ってしまったときは、オフにするのはなかなか困難です。

では次に、子ども会の「願い」との関係でお話をすすめます。ルールや決まりを守り、すてきな良い時間を過ごしてもらいたいという願いがあります。しかし、集団で行動し友だちと過ごすのですから、自分のおもいが叶わないときもあります。なかには葛藤を抱える子どももいるかもしれません。われわれは予測される問題を事前に取り除きますが、計画どおり平穏に進行するわけではありません。

不測の出来事が起きたとき、わたしたちが本当に問われるのは、この時かもしれません。子どもと「ともに考え」「ともに悩み」「ともに涙し」「立ち止まる」ことが大切におもえるのです。

なにごともなく、無事が一番ですが、不測の出来事が起きれば、「そこから」はじめたらいいのではないですか。そして、いっしょに悩むことこそが大事ではないでしょうか。

「今こそ、ご和讃の「こおりおおきのみずおおし さわりおおきに徳おおし…」を、いただくときかもしれません。

子ども会の悩みや困りごとをお寄せください!

これから子ども会をはじめようとする方や、すでに開かれている方のご質問に「Re:サガエさん教えて」のコーナーにてお答えします。

宛先は…oyc@higashihonganji.or.jp